



日本の「宝島」あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより

「人」を育てるまちづくり

平成20年5月12日、各まちづくり協議会と天草市の主催にて、「熊本天草幹線道路・第二瀬戸大橋の早期実現を求める島民集会」が、3,000人余の島民の参加をいただき開催されました。あれから15年、待ちに待った熊本天草幹線道路「本渡道路」が本年2月25日に開通いたしました。これにより、天草瀬戸大橋の交通集中に伴う渋滞や、一刻を争う救急搬送の迅速化などの課題の改善が見込まれ、天草地域の振興に大きく寄与するものと思います。また、2月4日には上天草市で「大矢野道路」の着工式が行われておりますが、熊本天草幹線道路（90分構想）の全線開通にはまだまだ多くの時間を要するものと思われます。一日も早い完成を強く要望いたします。

話は変わりますが、2月初旬、山鹿市鹿北町の岳間集落を訪問いたしました。中山間地域にあり、平成25年3月に小学校（旧岳間小学校）廃校、29年度に保育園も閉園となった「ないものづくしの地域」でありましたが、その廃校になった小学校を活用し、地域内外の人々が集う「ほっと岳間」として様々な活動をされています。「岳間を考える会」を立ち上げ、地元住民の声を聴くために全世帯を対象としたアンケート調査を実施されながら、住民の地域愛が浮き彫りとなって「ないものねだりよりあるもの探し」をしたところ、普段食べているものが美味すぎることや、あったかい人柄の良さに気付く、そこから活動が始まっていったそうです。今では来場者は年間8,000人。話を聞いていると、そこにはやはり「人」の存在が大きいこと、特に女性の存在と活躍がカギとなることに改めて気づかされました。中国の古典に、「一年の計（はかりごと）は穀を樹うるに如（し）くは莫（な）し、十年の計は木を樹うるに如くは莫し、百年の計人を樹うるに如くは莫し」という言葉があります。地域の未来は人づくりにかかっています。人財育成はコストではなく未来投資です。

本渡まちづくり協議会の事業の一つに「未来の大人応援プロジェクト」があります。天草拓心高校SBP部の活動への支援や、市内各高校と連携した取り組みなどを推進しており、未来の大人たちは確実に成長してくれています。昨年は、天草拓心高校SBP部の生徒が、本渡北小学校三年生の授業に先生役として招かれ、立派にその役を務めてくれました。こうした活動を通して大きく成長し、天草の未来を背負ってくれるものと思います。これからも精いっぱい支援を続けていきたいと思っておりますので、皆様のご理解ご協力の程よろしくお願いたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 30

令和5(2023)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P1
- 第3期本渡地域まちづくり計画を策定……………P2
- 令和4年度事業実績報告……………P3~5
- 各地区の話題……………P6~7
- 市内高校のSBP活動紹介など……………P8

ほんどのいま

令和5年3月1日現在
(令和4.9.1との比較)

【本渡南】	男……………3,690人 (- 47)
女……………4,210人 (- 35)	
計……………7,900人 (- 82)	
世帯数……………3,704 (- 27)	
高齢化率……………34.5%	
【本渡北】	男……………5,475人 (+ 7)
女……………5,994人 (+ 19)	
計……………11,469人 (+ 26)	
世帯数……………5,200 (+ 11)	
高齢化率……………24.5%	
【亀場】	男……………2,089人 (- 5)
女……………2,335人 (- 14)	
計……………4,424人 (- 19)	
世帯数……………1,884 (- 4)	
高齢化率……………25.5%	
【杵宇土】	男……………281人 (- 2)
女……………293人 (+ 2)	
計……………574人 (0)	
世帯数……………261 (- 1)	
高齢化率……………49.8%	
【志柿】	男……………1,195人 (- 7)
女……………1,406人 (- 8)	
計……………2,601人 (- 15)	
世帯数……………1,196 (- 0)	
高齢化率……………37.9%	
【下浦】	男……………774人 (- 2)
女……………875人 (- 10)	
計……………1,649人 (- 12)	
世帯数……………748 (- 4)	
高齢化率……………46.6%	
【楠浦】	男……………1,096人 (- 7)
女……………1,190人 (- 12)	
計……………2,286人 (- 19)	
世帯数……………999 (- 4)	
高齢化率……………40.4%	
【本町】	男……………783人 (- 9)
女……………795人 (- 15)	
計……………1,578人 (- 24)	
世帯数……………821 (- 4)	
高齢化率……………43.1%	
【佐伊津】	男……………1,450人 (- 17)
女……………1,619人 (- 6)	
計……………3,069人 (- 23)	
世帯数……………1,436 (- 1)	
高齢化率……………38.0%	
【宮地岳】	男……………219人 (- 1)
女……………232人 (- 2)	
計……………451人 (- 3)	
世帯数……………232 (0)	
高齢化率……………55.7%	
【合計】	男……………17,052人 (- 90)
女……………18,949人 (- 81)	
計……………36,001人 (-171)	
世帯数……………16,481 (- 34)	
高齢化率……………32.6%	

【編集・発行】
本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-8631
熊本県天草市東浜町8番1号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-24-2744
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp



市内高校のSBP活動紹介

～天草拓心高校SBP部～

天草拓心高校SBP部が、12月に本渡北小学校で授業を行いました。授業内容は、スイーツのテーマは「あまりん焼き」の取り組みを、郷土料理のテーマは「防災用非常食」の取り組みを紹介しました。高校生のみで授業を行い、普段の学校生活では体験できない経験をさせていただきました。授業を受けた小学生は、特別な先生だったので目を輝かせながら楽しく授業を受けていました。

今までのSBP活動が地域の方々に徐々に認知された結果、今回の授業に繋がったのではないのでしょうか。今後も地域に貢献できるようなSBP活動に期待したいです。



▲ 授業風景 ▲

私たちの活動については、天草拓心高校ホームページ内SBPコーナーで随時発信していきますので、ご覧ください。また、このプロジェクトには、多額の資金が必要です。ご協賛いただけると幸いです。

～天草工業高校～

天草工業高校は、11月の開校60周年記念式典で、PM（プロジェクト・マッピング）を発表しました。完成度が高いものが出来上がり、映像が流れだした時には観ていた生徒から驚きの声があがった程でした。

式典の数か月前から、アドバイザーの一般社団法人 未来の大人応援プロジェクトの山岡氏に指導していただき、自分達でアイデアを出しながら構成を考え製作しました。

本渡まちづくり協議会 YouTube チャンネルにも掲載しておりますので、下記QRコードを読み取っていただき、動画をご覧ください。



▲ 発表風景 ▲



▲ 動画はこちら ▲

掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力

～第3期 本渡地域まちづくり計画を策定～

▲天草未来大橋

第3期 本渡地域まちづくり計画

5 計画の推進体制

・本計画の推進体制、評価・改善計画について定めています。

6 地区別計画

・本渡地域内10地区ごとに各地区の特色や課題、行動計画について定めています。

1 計画のあらまし

・計画策定の趣旨や位置づけ、計画の期間、体系図を定めています。

2 本渡地域の概要

・計画を策定するにあたって基礎的な数値（地理、面積、人口等）をまとめています。

3 計画の基本方針

・本渡地域が目指す姿（理念）や6つの部門（産業経済、観光・文化、地域振興、教育保健・医療・福祉、生活環境・防犯防災）ごとに方針を定めています。



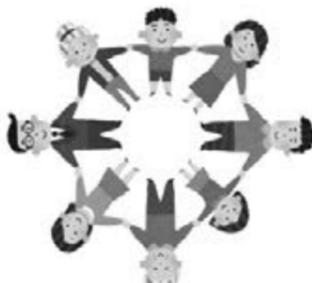
4 分野別行動計画

・6つの分野ごとに具体的な方策を定め取り組んでいくこととしています。

主な事業としては、地域農業の推進、広報活動、未来の大人応援プロジェクト、人材育成事業、子どもの健全育成、安心して暮らせるまちづくりなどです。



▲計画を審議する様子



第3期天草市地域まちづくり計画（本編）は、市ホームページに掲載しています。

令和4年度 事業実績報告

本渡まちづくり協議会では、「まちづくりは、人づくり」をテーマに、地域を担う人材の育成や地域の活性化に向けて、「まちづくり研修事業」や「未来の大人応援プロジェクト（SBP）事業」などを実施しました。

まちづくり研修事業

【実施日】令和4年12月22日～23日
【場 所】長崎県西海市、長崎県東彼杵郡東彼杵町
【参加者】15人

委員研修は、まちづくりを推進する協議会委員の育成と特色あるまちづくり活動の展開を推進することを目的として研修を行う事業です。

本年度は、令和4年12月22日と23日、長崎県下で先進的な取り組みをされている地域団体の視察を行いました。

西海市では、「NPO法人雪浦あんぱんね（代表 渡辺督

郎氏）」を視察。雪浦地域の方言である「あんぱんね（遊んでいきませんか）」が団体の由来であり、赤ちゃんからお年寄りまでが心豊かに暮らせる田舎づくりを目標として、海、山、川に恵まれた豊かな自然（雪浦は8割が森林）と、雪浦の人々の暮らしの場を開放。訪れる側、迎える側の双方が共に楽しめる交流事業「雪浦ウィーク」などの実施により、都市部との交流人口を増加させながら地域の魅力をPRすることで移住の促進につなげておられます。

また、移住者が空き店舗等を利用してパン屋、カレー屋、カフェ・レストランなどを開業することで、現在では週末に遊びに行く地域として定着しています。



▲カフェ・レストラン「ゆきや」



▲渡辺代表の講義の様子

また、移住者同士や地域住民とのコミュニケーションを図るため、ワークショップなどを開催しながら、知らない土地に移住した方のフォローと地域住民の協力体制の醸成や、移住者が生活していける仕組みづくりに取り組まれています。



▲交流拠点「Sorrisoriso (ソリッソリッソ)」



▲森代表の講義の様子

振興会職員研修は、まちづくりを推進する事務局職員の育成と特色あるまちづくり活動の展開を推進することを目的として研修を行う事業です。本年度は、令和5年1月18日に芦北町の団体「フットパス芦北（代表 佐藤圭吾氏）」を視察。団体で考案された「上田浦く御立岬コース」が、平成29年に第1回全国フットパスコンテストでグランプリを受賞されており、そのコースを実際に歩きながら、フットパスの魅力やその伝え方、運営の仕方、コース作りにおける注意点を詳しく説明していただきました。また、今後は地域をより深く知ってもらうため、地元の小学生によるコースガイドを検討するなど、コースを作って終わりにせず、新たな付加価値を生もうとチャレンジされている姿が印象的でした。

令和4年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所) 事業内容	参加者
令和4年6月5日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	16人
令和4年6月6日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校) 天草拓心高校1年生を対象とした岸川政之氏の講演会	約180人
	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草工業高校) 天草工業高校3年生へのプロジェクトマップ授業	
令和4年6月9日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草市役所) 天草拓心高校 SBP 部が「第一回全国高校生一億円プロジェクト」への応援メッセージを依頼するため、市長を訪問。	9人
令和4年6月30日	「第1回 まちづくり協議会」会議(天草市役所) 令和3年度 事業実績・収支決算の報告・承認 役員の改選について 令和4年度 事業計画・収支予算の審議・決定	24人
令和4年7月30日～31日 8月7日、20日～21日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草拓心高校・皇學館大学) ハイブリッド開催(オンライン+現地)となった「第7回全国高校生SBP交流フェア」へ参加し、天草拓心高校 SBP 部の取り組み発表やワークショップなどを通して参加校との交流を図った。	17人
令和4年9月15日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草市役所) 岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	11人
令和4年9月16日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草高校倉岳校) 天草高校倉岳校の全校生徒を対象とした岸川政之氏の講演会	20人
令和4年10月1日	「Vol. 29 まちづくり協議会だより発行」事業(本渡地域配布) 令和4年度 事業計画・収支予算、第7回全国高校生 SBP 交流フェア内容紹介、本渡地域の各地区振興会のホームページなどについて掲載	-
令和4年11月10日～12日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草工業高校) プロジェクトマップの最終調整及び天草工業高校60周年記念文化祭においてのステージ発表	10人
令和4年11月24日	「第2回 まちづくり協議会」会議(ここらす) 第3期天草市本渡地域まちづくり計画の策定について 本渡まちづくり火災見舞金支給規則の新設及び本渡まちづくり事故見舞金支給規則の改正について	23人
令和4年12月22日～23日	「まちづくり研修(委員研修)」事業(長崎県) 長崎県西海市:NPO法人 雪浦あんばんね 東彼杵郡東彼杵町:一般社団法人 東彼杵ひとこともの公社	15人
令和5年1月18日	「まちづくり研修(地区振興会職員研修)」事業(芦北町) 芦北町:フットバス芦北	8人
令和5年1月29日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(ここらす) 岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	12人
令和5年1月30日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(牛深高校・天草工業高校) 岸川政之氏と牛深高校及び天草工業高校との意見交換	15人
令和5年2月26日	「未来の大人応援プロジェクト (SBP)」(天草市役所) 岸川政之氏と天草拓心高校 SBP 部との意見交換	12人
令和5年2月28日	「第3回 まちづくり協議会」会議(天草市役所) 第3期天草市本渡地域まちづくり計画の策定について	21人
令和5年4月1日	「Vol. 30 まちづくり協議会だより発行」事業(本渡地域配布) 第3期本渡地域まちづくり計画の概要紹介、令和4年度 事業実績報告、各地区の話題などを掲載	-

【1回目】令和4年10月1日号(Vol. 29)発行
【2回目】令和5年4月1日号(Vol. 30)発行
【配布】本渡地域の全世帯

協議会だより発行业



▲実際にコースを散策



▲佐藤代表の講義の様子

未来の大人応援プロジェクト(SBP)

「協議会だより発行」事業は、本協議会の活動や各地区のまちづくりに関する様々な情報を広く発信することを目的として、年2回本渡地域の全世帯へ広報紙の配布を行う事業です。
多くの地域住民の皆さんのまちづくり活動に対する理解や、まちづくり活動への積極的な参画に向けて啓発を行っています。

令和元年度から実施している、本渡まちづくり協議会と市内各高校との連携・協働事業です。
今年度も引き続き、天草拓心高校SBP部と連携してオリジナルたい焼き(あまりん焼き)と防災用非常食の開発に関する取り組みを推進しました。
あまりん焼きについては、毎月第3日曜日に銀天街で開催されている「まちはみんなの遊園地」などのイベントで販売させていただくこととしておりましたが、今年度もコロナ禍の影響などがあり、7

月開催時の1度しか販売する機会がありませんでした。しかしながら、少ない販売の機会にアンケートを実施し、そこから抽出したご意見などを基に、味や食感、パリエーションについて試作を繰り返し、改良が進められています。
防災用非常食については、昨年度に製造した製品(せんだご汁をパッケージしたもの)の販売などを行いました。ご注文をいただいた地域の企業や各地区振興会等の団体へ納品するとともに、天草拓心高校SBP部からの支援物資として、昨年8月上旬に大雨の被害を受けた青森県立鯉ヶ沢高校などへ届けられました。製品に関しては、改良していくために解決しなければならぬ課題が挙げられていますので、検討・試行を継続していきます。
※支援の詳細については「本渡まちづくり協議会だよりVol. 29」に掲載
また、今年度は天草工業高校とのプロジェクトマップに、天草工業高校とのプロジェクトマップに係る取り組みや、天



▲7月17日あまりん焼き販売



▲9月16日講演会



▲1月29日天草拓心高校SBP部との意見交換

※SBP: Social Business Projectの略で、地域課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組みです。
具体的には、若者(高校生)が中心となり、地元にある地域資源(人、モノ、自然、歴史、産業など)と交流し、見直し、活用して「まちづくり」や「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。



第45回 佐伊津町町内一周駅伝大会!!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

令和5年1月29日(日)3年ぶりに「町内一周駅伝大会」を開催しました。今年で、45回目を迎える伝統ある駅伝大会、天気にも恵まれ無事開催することができました。地区の部8チーム、オープンの部2チームが参加し、町内を2周する全長8.0kmのコースで行いました。全82名のランナーが8区間でタスキをつなぎ、優勝目指してチームのために力走してくれました。優勝は浜洲区で、見事3連覇を達成しました。次回も町全体で歴史ある駅伝大会を盛り上げて行きたいと思っております。

青少年部会で「水族館」へのお出かけしました!

宮地岳地区振興会 会長 中西 昭人

コロナ禍で延期にしていた「青少年部会の研修旅行」を2月19日に実現することが出来ました。今回の旅の目的は上天草市にある「海中水族館シードーナツ」です。風が強く霧雨が降るあいにくのお天気でしたが、宮地岳の子どもたちは元気そのもの。タッチングプールで魚に触ったり、ウミガメの産卵を見るんだとその場を動かない子どもや魚への餌やり、イルカと遊ぶ子ども 移動する階段で上り下りする競争・等 どこに行っても自由そのもので楽しんでくれる子どもたち。その好奇心の塊みたいな行動力は大人になっても持ち続けて大切にしてもらいたいものです。密を避けるため現地集合・現地解散としましたが楽しい時間を過ごすことが出来たようです。事業をなんとか開催出来て良かったと思う一日でした。



第36回本波南地区ミニバレーボール大会を開催しました!

本波南地区振興会 会長 電子 研二

コロナ禍で開催を中止していたミニバレーボール大会を、3年ぶりに天草市民センター体育館で開催することができました。当日はフリー、40才以上、60才以上の各クラスに出場する合計15チームに参加して頂き、それぞれのクラス別に試合を行いました。フリーの部は力強く、40才以上の部は楽しく、60才以上の部は粘り強いプレーが繰り広げられ、体育館内は歓声に包まれました。



ミニ門松づくりを実施しました!

本波北地区振興会 会長 金澤 一紀

12月25日(日)、北地区の女性部で企画したミニ門松づくりを実施しました。門や玄関前に飾る門松は、年神様が家へ尋ね入るにあたっての目印だとされています。一年中落葉しない松、成長が早く生命力の強い竹、新春に開花し、年始にふさわしい梅と3つの縁起物が用いられました。大宮地竹灯籠組合の方の指導のもと、ミニ門松づくりは初めての取り組みでしたが、皆さん自分のセンスを活かし工夫しながら飾りつけを楽しまれました。

イルミネーション用竹灯籠製作事業

本町地区振興会 会長 堀田 福男



本町地区振興会では、区長会及び有士の方々の協力のもと、イルミネーション用の竹灯籠作りに挑戦しました。大宮地竹灯籠組合の方を講師にお招きして、色々な長さの竹にドリルで穴を開けて作りしました。制作から設置まで約5時間とかなり大掛かりなものとなりましたが、大変立派なものが出来ました。コミセン玄関の左右2カ所に設置し町民の皆様からも好評をいただきました。これからも「笑顔の絶えない元気で住みやすい本町」を目指して頑張ります。

各地区の話

亀場町ふるさと文化展

亀場地区振興会 会長 井上 数馬

令和4年11月13日(日)~19日(土)、「亀場町ふるさと文化展」を開催しました。作品展示は亀川小学校、稜南中学校、亀場幼稚園、愛隣保育園の他に一般団体及び個人の方にご協力をいただき、作品総数約700点の力作を展示しました。また亀川小学校吹奏楽部の演奏発表映像や懐かしいお祭りの映像等放映し、見ごたえのある展覧会を開催することができました。初日より園児・児童・生徒の家族連れや、一般の方々等、延べ約400名の来場者をお迎えし、久々にお会いする町民の方々との会話も弾み、地域の方々との親睦を図ることが出来ました。長引くコロナ禍の中、久々に開催できた作品展のみの催しでしたが多くの賛同をいただきました。今後も、状況の変化に柔軟に対応しうる事業を検討していきたいと思っております。開催に伴い多くの関係者の方々にご苦労いただきました。感謝申し上げます。



楠浦よかとこスタンプラリー大会を開催

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武

1月15日(日)に第13回楠浦よかとこスタンプラリー大会を開催しました。この大会は、楠浦町の良さを感じてもらうために、町内の各所や文化財を巡るスタンプラリーです。各ポイント地点では、楠浦小学校4年生と楠浦よかとこ案内人が参加者に各所等の説明を行い、楠浦のよかとこを伝えていました。また、小学生が考えたクイズも出題し、和やかな雰囲気の中、約7kmのコースを皆さんゴールされていました。参加された方から、「小学生とよかとこ案内人の説明が良かった」「来年もまた参加したい」などのお声を頂き、とても嬉しく思います。来年もたくさんの方に参加して頂き、楠浦町の良さを伝えていければと思います。



少し遅めの生物調査勉強会!

下浦地区振興会 会長 川崎 宏

下浦地区振興会の青少年部会では、毎年夏休みに町内児童の健全育成と思い出づくりを目的に、小学生と保護者を対象とした事業を行っています。しかし、コロナの収束が見えず、各事業も中止が相次ぎ、なかなか開催することが出来ませんでした。今回夏休みに行う予定だった生物調査勉強会だけは感染状況の一旦収まった10月まで延期し、無事行うことが出来ました。本来暑い日差しの中活動していましたが延期したこともあり、今回は晴天にも関わらず大変過ごしやすい気候でした。水温もそこまで冷たくなく、子どもたちは元気に水中生物を捕まえていました。普段より長く成長した水草や、覆いかぶさるほどの水路沿いの枯草など、普段とは少し違った風景となったのも印象的でした。



ミニバレーボール大会を開催しました!

志柿地区振興会 会長 有江 浩三

志柿地区振興会では、例年、区対抗でミニバレーボール大会を開催していましたが、この2年間はコロナ禍のため中止していました。今回、参加チームの募集をする際に、今までの区単位での参加はもちろんですが、家族やご近所の方同士、自主サークル、個人などでの申し込みもできるように変更することで、少人数でも参加しやすい雰囲気になるよう心がけました。初の試みとなりましたが、約60名の方に参加をいただき、感染防止対策を講じながらも皆で楽しんでプレーしました。

みんなで頑張って作った竹灯籠イルミネーション!

伊宇土地区振興会 会長 平山 辰巳

令和4年から従来のイルミネーションに加え、地元産の竹を使った冬灯りの一環として竹灯籠制作に取り組みました。始めるにあたり、先進地視察研修や既存の現地見学、電動工具等資機材の調達、竹灯籠の設置場所やイメージ・デザイン等を皆さんと検討し協力を得て、約1ヶ月間コツコツと作業を行い12月12日の点灯式が出来ました。今回も地元を始め県内外から色々な感想を頂きました事、ありがとうございます。参考にしながら続けていきたいと思っております。

